

こどもたちに「生きる力」
そして大きな夢と勇気を

元気の泉



文部科学省認可

財団法人 こども教育支援財団

第1回 富良野自然体験ツアーレポート!

第1回全国環境教育ポスターコンクール最優秀賞
副賞 富良野自然体験ツアー

北海道の大自然に触れる!

昨年最優秀賞に輝いた生徒、保護者の方を招待し、さらなる環境への意識を高めてもらおうと、2泊3日で北海道・富良野自然体験ツアーが行われました。

財団からは、全国審査委員の三浦雄一郎先生、谷口文章先生、実行委員長の大橋節子理事、増田哲也専務理事が同行しました。

初日は、元気の泉キャンパスを訪れ、三浦雄一郎先生から「北海道の自然の中で大きな思い出をつくってほしい」と呼びかけがありました。キャンパスの畑で作られたトマト、きゅうりをみんなで協力しながら収穫しました。

翌日は、本コンクールにご賛同いただいた倉本聡先生主催の富良野自然塾へ行き、富良野自然塾が行う2つのプログラム(環境教育プログラム、間の教室)に参加しました。

「環境教育プログラム」では、地球環境問題の原点を五感を通して体感し、木を植えることの大切さ、森づくりの重要性を理解した上で、植樹をする貴重な体験をしました。

また、「間の教室」では、全く光のない世界で様々な「間」の体験できる日本初の常設スペースで、人間の持っている五感のうち、視覚を完全に封じることによって視覚以外の感覚が蘇る感動体験をしました。夜は、富良野プリンスホテル内会議室にて、事前学習課題を題材に、環境教育ディスカッションを行いました。

この夏、北海道の大自然を舞台に環境への大切さを体感した貴重な経験は、次世代を担うみなさんの大きな成長につながったと思います。



北海道新聞
平成22年8月1日掲載

富良野自然体験ツアーに参加して

「元気の泉キャンパスで食べた取れたてのおいしい野菜。間の教室では暗闇の中で私達は生活ができないということ。環境教育プログラムでは、地球の道でインストラクターの話しを聞いて、環境について考えさせられました。植樹も初めての体験だったので楽しかったです。富良野自然体験ツアーは、私にとって最高の思い出となりました。」



(写真中央)

首都圏ブロック 尾田友紀種之んより



環境教育ディスカッションの様子



近畿ブロック 松尾順人さん



近畿ブロック 助野実奈さん



中国ブロック 森松朱玖さん

環境プログラムの内容

森の教室

空の下、自然の音や風を感じながら、森が人類に必要不可欠であることを分かりやすく話し、そのことにより、富良野自然塾が取り組む森づくりの「根っこ」を理解してもらう。



裸足の道

目隠しをして様々な素材の上を歩き、視覚を閉ざされた事によって他の感覚が敏感に。環境教育は感じる事から始まる。



石の地球

地球が「奇跡の星」と呼ばれる所以などを、直径1mの地球のオブジェを使いながら分かりやすく解説。星としての地球を知ることが、環境を考えるはじめの一歩。



地球の道

地球の歴史46億年の時を、460mの距離に置き換えた道。インストラクターが解説を加え、それを聞きながら歩き、現在にいたる地球の壮大なドラマを体感することができる。



育苗地

採取した種から育てた苗や山採り苗(採取した天然実生苗)の管理など、植樹にいたるまでの育苗管理基地。山採り、カミネッコン作りなどの体験を行い、苗づくりから始める森の再生について考える。

植樹

ゴルフ場の芝を剥がした土壌は樹が育つには過酷な条件。カミネッコンを使い、また様々な工夫をしながら森の再生を目指す。

第2回 全国環境教育ポスターコンクール

チャレンジ
25

未来が変わる。日本が変わる。

募集要項 首都圏版

募集作品のテーマ

1

生態系を守ろう

2

命を守ろう

3

地球温暖化と
エネルギー問題を
考えよう

4

動物や植物と
ともに生きよう

5

築かれてきた
知恵や文化に学び、
環境を創造しよう

最優秀賞
副賞



北海道・富良野自然体験ツアー

募集対象者

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県内の小・中・高校生

募集期間

第1次 平成22年9月 1日(水)～ 9月17日(金)

第2次 平成22年9月18日(土)～10月 8日(金)

■展示期間・展示場所

平成22年11月27日(土)～12月5日(日)

がすてなーに ガスの科学館

(東京都江東区豊洲6-1-1) ※11/29(月)休館

■表彰式

平成22年11月28日(日)10時～12時

がすてなーに ガスの科学館

(東京都江東区豊洲6-1-1)

■主催

(財)こども教育支援財団(文部科学省認可)

■応募規定

(1)平成22年4月から募集期間までに制作した作品

(2)画材は特に問わない

(3)作品テーマに応じた「標語」を入れる

(4)画用紙4つ切(約39cm×54cm)

※指定サイズで応募されない場合は無効

(5)所定の用紙に学校名、学年、氏名を明記し、
作品裏右下に貼付

(6)応募は原則1学年につき、10名以内とする

(7)応募作品の返却はしない

(8)著作権は、主催財団に発生するものとし、
広告、ポスター等に使用されることがある

■各賞の内容

最優秀賞・全国各ブロックの宇宙賞(全9点)より、
(3点)を選出

宇宙賞・小・中・高より各ブロック1名(全9点)

太陽賞・小・中・高より各ブロック1名(全9点)

地球賞・小・中・高より各ブロック2名(全18点)

審査員特別賞・小・中・高より各ブロック1名(全9点)

*最優秀賞受賞者は、平成23年夏「北海道・富良野自然体験ツアー」へご招待

*宇宙賞受賞校には、図鑑セットを贈呈

*学校単位で、応募者の皆さんに参加記念品を送付

■後援

環境省、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、
埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、江東区
教育委員会、品川区教育委員会、新宿区教育
委員会、世田谷区教育委員会、港区教育委員会、
横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、さいたま市
教育委員会、千葉市教育委員会、東京ガス(株)

■全国最終審査員

最終審査委員長：川口 順子(参議院議員・元環境大臣・元外務大臣)

最終審査委員：安藤 忠雄(建築家) 5名

谷口 文彦(日本環境教育学会国際交流委員長)

津田 裕子(女子美術大学教授)

三浦謙一郎(社)全国森林レクリエーション協会会長

山根 基世(ことばの杜共同発起人)

■首都圏ブロック審査員

審査委員長：津田 裕子(女子美術大学教授)

副審査委員長：中島 義和(日本科学未来館副館長)

審査委員：泉妻 輝夫(元横浜市立中学校校長)

岡村 太郎(元千葉市立中学校校長会会長)

東 宏行(埼玉県立大学准教授)

平戸美和子(元千葉市立小学校校長)

三浦恵美里(株)ミクラドルフィンス代表取締役



第1回 全国環境教育ポスターコンクール
最優秀賞作品



川口順子審査委員長から最優秀賞の賞状を
授与される尾田友紀穂さん



昨年の表彰式の様子



各賞の受賞作品

問い合わせ先

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-4-1

(財)こども教育支援財団事務局「第2回全国環境教育ポスターコンクール」係

TEL:03-5823-2567(電話対応時間:土・日・祝祭日除く、10時～17時)

FAX:03-5823-2577

ポスター送付先

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-5-3-9F

(財)こども教育支援財団「環境教育ポスター募集」係

TEL:03-5645-6897(電話対応時間:土・日・祝祭日除く、10時～17時)

学校から環境教育ポスター募集係へ直接送付